

# 学校だより 高遠の子

伊那市立  
高遠中学校  
2021.6.25  
No.6

## 夏の大会に寄せて（3）

【学び得たものを大切に～学則得～】

6月5日、12日、13日と高遠中学校の生徒の皆さんが参加した中総体南信大会。3年生にとって運動部の集大成とも言える大会が終わりました。26日は、剣道に1年生が出場します。新型コロナ禍のために開催さえ危ぶまれながらも大会が開催でき、3年生にとって最後の試合ができたことに改めて生徒の皆さんに感謝しています。感染してはいけないというプレッシャーは生徒の皆さんだけでなくお家の方も相当に重かったのではと思います。これまでお支えくださったお家の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

3年生の皆さん、お疲れさまでした。それぞれの思いを結集した日となったことと思います。ありきたりの言葉になってしまいましたが、勝敗結果以上に、これまでの活動で得た経験や思いをこれからの生活に生かしてほしいと願っています。数十年経っても忘れられない瞬間を得ることができたと思います。大会が終わってすぐに期末テストもあり、感傷に浸る余裕さえない時間を過ごしているのではと思います。すぐに切り替えることは難しいかもしれませんが、それほどに生活の大きなウエイトを占めていた活動です。振り返りをして、次のステップにつなげてほしいと願っています。

1、2年生は新しいチーム作り、仲間作りの始まりです。3年生から教えていただいたこと、見て、関わって直に感じたことを大切に活動に

励んでください。

【壮行会（6月8日）】



全校での壮行会。応援歌ではなく、精いっぱいの手で選手の皆さんを壮行しました。

## 【大会スナップ】



\*大会運営に携わっていたため、一部の部の参観応援のみとなりました。

## 1年生技術「プランター木枠づくり」 ～木造建築担い手事業（6/2）～



県の事業に応募し、本事業が実現できました。地元の大工さんにも参加・指導いただきました。「担い手」：高度な技術を受け継ぐ人財育成事業の一つです。キャリア教育ともなっています。

## 2年生「職場体験学習」に向けて



5月31日、職場体験事前学習会  
講師に人財育成コンサルタントの野澤君枝さんをお招きして挨拶の基本など教えていただきました。

### 野澤さんからのメッセージ

「…高遠中学校の校舎の中はいつも整然と整理されており、迎え入れてもらっている心地よさを感じます。…今回の講座では、マナーとはきれいに見せる、形式ばかりが優先されるのではなく、相手に関心を寄せ、気づき、考え、伝えていくものだとお伝えしました。仕事は世代の違う人と人との関係の中から生まれること、その中でマナー力は、コミュニケーションスキルの一つであり、人とつながる力であることをお伝えしました。学校生活は社会に出るための準備する期間でもあることを、職場体験をすることでその意味を理解できるのではないかと考えています。高い感性でいろいろなことを学んでくれることを願っています。…」(礼状より)



6月24日 2年生各自が自分で事業者さんへ体験学習のお願いと打ち合わせの電話をしました。



高遠中学校 ICT 活用の授業が理科教科書会社の機関紙(全国版)に掲載されました。(次ページ)



友達の集めたものと  
比べることで、  
自然と対話が生まれます。



教科書のような典型例は  
なかなか見つかりません。

# 手の届かなかつたところに 手が届くようになるICT

長野県伊那市は、GIGAスクール構想に先駆けてICT機器を導入し、遠隔授業やレポート作成などに積極的に取り組んできました。その取り組みについて伊那市立高遠中学校でうかがいました。

長野県伊那市立高遠中学校

1人1台端末で  
個別学習と協働学習を  
楽に行き来できます。



足助武彦先生



雲画像も簡単に  
手に入ります。



こんな天気図を集めて  
動画にしました。



先崎豊治先生

動画として天気図を  
見ることで、その特徴が  
わかりやすくなりました。

## 時短して楽になる

新たにICTの活用に取り組み場合、タブレットを使わなければと構えてしまうのではなく、まずは使ってみて、授業が効率化できて楽になることを実感することが必要だと足助先生は言います。その入り口として教科書には載っていない事例を検索することや、実験の結果を写真に撮って記録する、それらの結果を共有するという手軽なことで構わないということです。

## 見えなかつたものが 見えてくる

ここでは、検索を活用した先崎先生の授業実践を紹介します。この授業では、日本の四季の天気の特徴を連続した天気図の動画にして共有し、考察するというものです。使用する天気図は、生徒が各自1年間の天気図から選んだものです。集めた天気図の画像を連続して表示させることでアニメーション化し、天気図の動きから四季の天気の特徴について考察します。このとき、生徒たちは、自分なりの天気図を探す過程で、教科書に載っている天気図のような場合がなかなかないことや、他の生徒の選んだものと自分の選んだものとの違いなどに自ら気づき、自然に対話が始まっていたそうです。

## 進む

### 「主体的・対話的で深い学び」

この活動を通して、生徒は教科書での学習内容に加えて、天気の変化の複雑さに気付くことができている。実際に観測したデータを使って同様の活動することもできますが、ICTによってデータ収集の時間を短縮するとともに、動画としてまとめることで、各季節の天気の特徴が比較しやすくなるという効果も出ています。

足助先生によると、こうした効果的なICTの活用には、まず「斉学習・個別学習・協働学習」という学習形態を授業の中でどのように使い分けるのかといった構想が必要だということです。その上で、その中どこがICTによって効率化できるのか、効果的に使えるのはどこかという視点で考えるとよいそうです。そうすることで、授業の中に生徒の活動や考える時間の余裕が生まれます。高遠中学校では、ICTによって生徒の活動が大幅に増え、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながっているのです。

ぜひ、ここで紹介したようなことの中で、先生方ご自身がストレスなく取り組めることから始めてみてください。